

いう不安があります。

に喪失していくのです。

### 勤務医を辞める麻酔科医

勤務医を辞めるにあたり、開業は大きな選択肢です。しかし、麻酔科の場合、ペインクリニックで開業という道はありますが、一般的ではありません。最近、病院を辞めた後の選択肢として、どこの病院、大学にも属さない出張麻酔を専門としている麻酔科医が増えていると言われていきます。勤務医に比べ、収入も増え、仕事をしている時間が短くなり、なんと言っても休みが自由に取れるといったメリットがあるそうです。しかし、遣り甲斐の喪失、術後患者のフォローアップができない、スタッフとの交流が得られない、スキルの向上が得られないという欠点があり、長続きしないこともあると聞きます。しかし、これらの欠点もどこ吹く風で、1例でも多くの症例をこなし、多くの報酬を得ることに血道をあげている麻酔科医師もいるようです。こういう麻酔科医師がふえるにつけ、きっと他科の医師から信頼を失い、先輩方が努力して獲得してきた麻酔科の価値、周術期管理のプロとしての地位を知らず知らずのうち

### 麻酔科医として勤務医を長く続けるために

麻酔科医が病院を退職し、手術が出来ないことが新聞紙上を賑わせています。ただでさえ少ない人数の麻酔科医であるにもかかわらず、自分が病院を退職することによりいかに大きな影響を社会に及ぼすかなどお構いなしに病院を辞めてしまうことに大きな憤りを感じます。病気に苦しむ患者が、病気の苦しみからの解放を求め、毎日、昼夜を問わず、数多く病院を訪れます。当然、手術を目的に当院に紹介される患者も数多くいます。麻酔科医師がいなければ、こういった多くの患者の期待に答えられないことを思えば、また、麻酔科医師の数が増えない現状のなかで勤務医を辞すことを考えていられるでしょうか。

われわれ麻酔科医はあまり目立つ存在ではないかもしれませんが、社会に対して大きな役割を担っているということを常に心に刻んでおくべきです。チーム医療を担う一員として信頼される医師、さらに、質の高い病院を築く構成員として努力していくことが我々の使命であると考えます。

## 3 小児科勤務医の立場として

平野 春伸

済生会新潟第二病院小児科

### Hospital Pediatrician's View

Harunobu HIRANO

Department of Pediatrics Saiseikai Niigata Daini Hospital

Reprint requests to: Harunobu HIRANO  
Department of Pediatrics  
Saiseikai Niigata Daini Hospital  
280-7 Teraji Nishi-ku,  
Niigata 950-1104 Japan

別刷請求先：〒950-1104 新潟市西区寺地 280-7  
済生会新潟第二病院小児科 平野 春伸

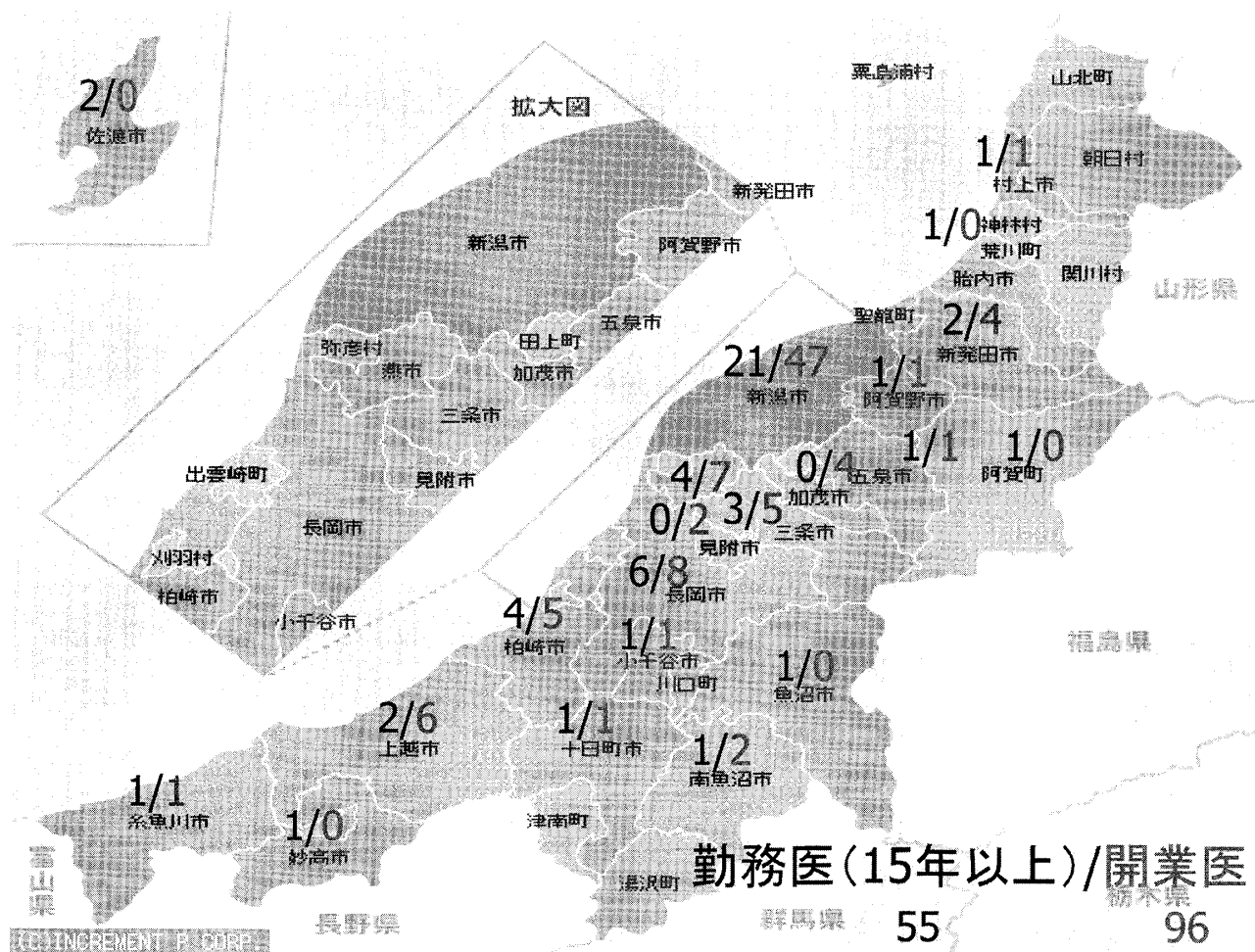


図 新潟県における小児科医の分布

## はじめに

新潟県の医師数は、平成16年で人口10万あたり166.9人(全国42番目)と全国平均201.0人を大きく下回っており、医師不足は深刻な状態である。それに伴い、勤務医も不足しているため、勤務医の勤務も過酷になっている。小児科勤務医も同様に不足しており、勤務もさらに過酷なため、開業する傾向が強く、それは小児科勤務医の不足と過酷な勤務に拍車をかけている。小児科勤務医の不足は、小児医療体制の崩壊にもつながり、改善が急務であるため、小児科勤務医が長く勤務するためには、どういう事を改善して行けば良いかを検討した。

## 方法

新潟県における小児科医の分布について会員名簿などを参考に調べた。小児科勤務医の実情については、小児科勤務医に対して、当直や拘束の状況・休日の勤務・新生児医療・学会参加・大変と思うこと・勤務医の良い点などのアンケート調査を行い、最近勤務医から開業した開業医に対して、開業理由・開業して良い点などのアンケート調査を行った。また、勤務医の1日および1週間の勤務状況も調べた。

## 結果

新潟県における小児科医の分布(図)では、新

表 新潟県における小児科勤務医の実情 (12病院の小児科)

---

当直：回数 2～5 回/月、他科の患者も診療(5/12 病院)、患者数 3～20 人/晩、 新入院 2～4 人/晩
拘束：回数 5～15 日/月、呼び出し(0～)1～2 回/日
休日勤務：回数 3～5 日/月、3～6 時間/日
新生児医療：大変(3/12 病院)、ある程度大変(5/12 病院)、それほど大変でない(3/12 病院)、 新生児を扱っていない(1/12 病院)
学会参加：1～3 回/年
勤務医として大変だと思うこと：
当直が大変・激務、時間外勤務が多い (8/12 病院)
診療以外の業務が多い (6/12 病院)
新生児医療が忙しい、休みが取れない、多科と比べて収入や時間など待遇が悪い、 小児科医が評価されない、当直で他科の患者を診なければならない (5/12 病院)
希望の地域で勤務できない、忙しさの変動(感染症の流行などによる)を理解されない、 上の先生や若い先生と一緒に働くのが大変 (2/12 病院)
他科の当直医が小児の患者を診てくれない、自分の思う医療ができない、 管理職になれない (1/12 病院)
勤務医の良い点：
経営をある程度考えないで、医療ができる
多くの症例を経験でき、その症例の経過を最後まで見ることができる
急に休みを取ることは、ある程度可能である
医療(診断、治療、学術)を話し合える相手がいる
論文を書いたり、研究ができる
全国的な学会に参加したり、発表できる

---

新潟県全体で開業医が 96 名、15 年以上勤務医を続けている勤務医が 55 名であり、開業医は 49 %が新潟市で、その他、長岡市、上越市、柏崎市、三条市、新発田市などの都市部に集中していた。一方、勤務医は、38 %が新潟市で、村上市から糸魚川市、佐渡市まで新潟県全体に分布していた。医局制度の良し悪しはあるが、医局制度により小児科医は新潟県全体に広く分布していると思われ、新潟県の小児科の地域医療に貢献しているのは、勤務医であることが分かった。小児科勤務医の 1 日の勤務については、午前中は、外来・病棟・新生児に分かれて診療を行い、昼休みは、入院処置・外来点滴中の患者の診察・救急患者の対応などを行

い、午後は、外来・検査・予防接種などを行い、夕方は、検討会・紹介患者の対応などで、ほぼ一日中休みない状態の日が多い。さらに夜間は、拘束番や当直医として、救急外来や入院患者の急変の対応・新生児医療に従事しなければならない状況であった。1 週間の勤務でも、duty が多く、自由にできる時間は非常に少ない状況であった。12 病院の勤務医の調査結果(表)では、当直や拘束は、回数や新入院が多くて大変な病院が多く、休日勤務も回数・時間ともに多いという結果で、大変と思うことでは、当直や時間外勤務が多い、診療以外の業務が多い、新生児医療が忙しい、他科と比べて収入や時間などの待遇が悪い、小児科医

が評価されない、当直で他科の患者を診なければならぬなどの順で勤務医として大変であることが多いという結果であった。勤務医の良い点は、経営をある程度考えないで医療ができる、多くの症例を経験でき経過を最後まで見ることができ、医療の事で話し合える相手がいるなどであった。また、11名の勤務医から開業した小児科医から頂いた開業理由は、当直が大変であった、新生児医療が大変であった、小児科が評価されなかった、当直で他科の患者を診なければならなかった、他科と比べて収入や待遇が悪かったなどが多く、小児科勤務医が大変と思うこととほぼ一致していた。

## 考 察

調査結果から、小児科勤務医が開業しないで勤務医でいるためには、小児科勤務医が共通して大変と思っている点を改善していくことが必要であり、それが小児科勤務医の長く勤務することにつながると思われた。

## 謝 辞

最後に、アンケートに協力して頂いた、下記の施設の先生方に深謝いたします。

### 協力施設

さとう小児科医院 佐藤雅久先生、ささがわ小児科クリニック 笹川富士雄先生、なごや小児科医院 名古屋聡先生、こども医院はしもと 橋本謹也先生、やぎもと小児科 柳本利夫先生、五味キッズクリニック 五味崇行先生、早川小児科クリニック 早川広史先生、長谷川こども医院 長谷川誠先生、かわさきこどもクリニック 川崎琢也先生、さくらい小児科クリニック 桜井守先生、こどもクリニックかんとく 関東和成先生、村上総合病院 山本浩介先生、水原郷病院 福島英樹先生、新潟市民病院 渡辺徹先生、木戸病院 樋浦誠先生、新潟こばり病院 田中幸恵先生、済生会三条病院 千葉高正先生 片岡哲先生、長岡中央総合病院 松井俊晴先生、長岡赤十字病院 沼田修先生、小千谷総合病院 菅野かつ恵先生、刈羽郡総合病院 岡田立平先生、新潟県立中央病院 須田昌司先生、済生会新潟第二病院 大久保総一郎先生 廣川徹先生 長谷川博也先生

## 4 一般・消化器外科医の立場から

酒井 靖夫

済生会新潟第二病院外科

### Present Status and Problems to Work as a Surgeon in a Hospital for Long Time

Yasuo SAKAI

Department of Surgery Saiseikai Niigata Daini Hospital

## 要 旨

当院は 19 診療科目、病床数 427 床、平均在院日数 13.5 日の一般急性期病院で、新潟市の中核

Reprint requests to: Yasuo SAKAI  
Department of Surgery  
Saiseikai Niigata Daini Hospital  
280-7 Teraji Nishi-ku,  
Niigata 950-1104 Japan

別刷請求先：〒 950-1104 新潟市西区寺地 280-7  
済生会新潟第二病院外科 酒井 靖夫